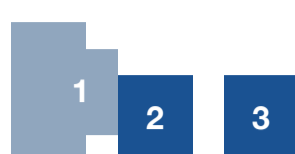




寺の改修

不動産 宮村樹さん

不動産の宮村樹さん。



Like 0 [✕ ポスト](#)

自分がした改修工事後の百年後、二百年後がどうなっているか、この目で見てみたい。

薬師寺で修業を積み、奈良の株式会社大和社寺工営の施工部門として実力を発揮する不動産の宮村樹さんを大阪府大東市瑞玄寺の改修現場に訪ねました。個人住宅のつくり手が大半を占める木の家ネットにはめずらしく、社寺を専門とした仕事をするつくり手です。



大阪府大東市の町中にある瑞玄寺の改修工事をしている。ご住職による「本堂改修ブログ」で改修工事の日々の様子が分かる。

創建当時の仕事が見える

社寺の改修は、時間がかかる。「古い瓦をおろして、屋根をめくって、軒まわりの傷んだところやもたない柱を新しくして...とやっていくと、どんなに短くても1年半ぐらいはかかりますね。地盤とともに部分的に下がってしまったところやそのことで生じた歪みを直し、必要に応じて、表からは見えなところでの耐震補強をします。瓦のラインや飾り物は、なるべく創建当初を再現するようにしています」



天井を見上げた時とはまったく違う、小屋裏の様子。

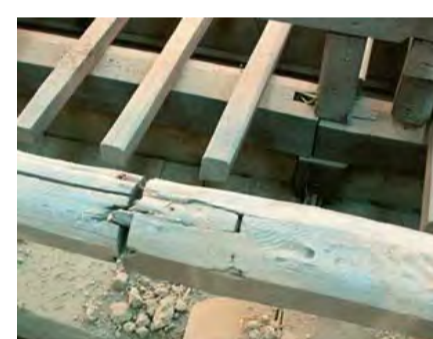
今手がけているのは、築70年のお寺。室戸台風で前の本堂が壊れた後に急いで建てられたものだ。「戦争に入る前のものない時代、しかも必要にせまられての急な再建という状況の中で、走っている仕事という跡が見受けられますね」同じ築年数でも、建設当初の建て方次第で、年数以上に痛みが来ていることもあれば、よくもっているなど唸られることもある。「結局、最初にどれだけきちんと建てられているかなんです」



瓦の重みで破風を支える母屋が折れている。

改修の工程を想像する。そのむずかしさと楽しさ

だから、フタを開けてみないとどれだけの規模の改修工事になるかわからない。「屋根裏に入り込んでほこりまみれになって調査します」内部の写真を撮り、模型をつくる。「本来ここはこう入っていないとならないのが、ないのでこういうダメージが来ましたが、ということを説明します」入札で競争会社より高い見積もりになったことがあった。それでも、その仕事は宮村さんのところに来た。「ひとつひとつを積み上げて状況をひもといっていたので、必要性を納得してもらえたと思っています」



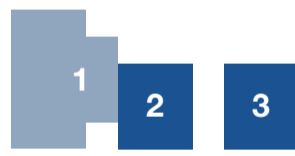
同じく瓦の重みで、鎌が破断してしまっった。

それでも改修工事は「実際にめくってみないとわからない」部分が多く、見積もりは難しい。目に見えるところ、触れるところから得られる情報を総合し、見えなところを想像してベストな改修方法をシミュレーションしなければならない。「ぼくがやって次の改修の時には、ぼくは生きていないでしょう。次にめくる大工が『いい仕事しとるな』と思ってくれるかどうか、確かめようがない。自分のした仕事の100年後、200年後を見てみたいですね」



古い松の梁を再利用するために、桁の上におろしてきたところ。

Like 0 [✕ ポスト](#)



瓦と野地板をはがしたところ。寺の大きな屋根全体を覆うように、足場がつくられている。



木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

- 2019年6月15日
やさしく強い、理想の家を求めて：アイ設計研究室 大前泰秀さん
- 2019年5月15日
磨き上げた職人技で、木を生かす：西岡建築一級建築士事務所 西岡健一さん
- 2019年4月20日
大工と左官の職人プロジェクトチーム 総合建築植田 植田俊彦さん 俊司さん
- 2019年4月10日
本物の家づくりを、自由に、楽しんで：株式会社木神楽 高橋一浩さん
- 2019年1月5日
新春特集 2018年のベストショット集

- 2018年12月29日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part3 大工の声&今後の課題編

- 2018年12月17日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part2 実録編

- 2018年12月14日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part1 概要編

- 2018年9月4日
番匠 剣持工務店 副棟梁・剣持大輔さん

- 2018年8月15日
鶴岡総会予告 その1 散るより、生き延びよ！

人気のある記事

- 伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！
18件のビュー
- 家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ
15件のビュー
- 設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家
11件のビュー
- 工務店・西條正幸さん（ビオプラス西條デザイン）：北海道で無垢の木の家づくり
10件のビュー
- 大工・高橋俊和さん（都幾川木建）：初原の営みに魅せられて
8件のビュー
- 工務店・小田貴さん（オダ工務店）：木の家づくりのプロデューサー
8件のビュー
- 大工・村上幸成さん（村上建築工房）：チームで大きな木の仕事が見たい！
7件のビュー
- 大場江美さん（サスティナティブ森の家）、日影良孝さん（日影良孝建築アトリエ）：手のひらに太陽の家
7件のビュー
- 大工・綾部孝司さん（綾部工務店）：原点回帰
7件のビュー
- きらくなたてものやチーム：家づくりを自分の手に！
7件のビュー

この記事のタグ

- このまちなみを次世代に
- 現場レポート

同じタグがついた別の記事

- 2009年3月25日
「伝統木造のこれから」大橋好光教授の展望は？
- 2008年11月28日
第八期木の家ネット総会・小江戸川越大会のレポート
- 2004年10月25日
NPO関善賑わい屋敷・曳家工事：この家が動く！
- 2010年1月16日
新潟県中越地震被災地訪問レポート
- 2016年1月14日
第15期 木の家ネット総会 高知大会 ～会員発表篇～

関連する記事はこちら



NPO関善賑わい屋敷・曳家工事：この家が動く！
工務店・山本兵一さん（大兵工務店）：蔵の街の再生をめざして
大工・金田克彦さん（大J（だいかね）建築）：幸せをつくる大工
四天王幼稚園ワークスツール：ぼくがこれ、つくったんだ！
大工・川村克己さん（川村工務店）：石場立ての家

地域別つくり手リスト

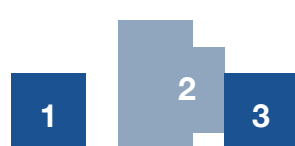
北海道・東北	関東（東京以外）	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東（東京）	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	

改修現場はまつりだ！

不動産 宮村樹さん



本堂の梁にする木を伐り出した時の集合写真



Like 0 ポスト

新築の方が安い。けど、思い入れは買えない。だから改修するんです。

この梁は、切れない

社寺建築には費用がかかる。檀家さんたちがお金を集めてようやく、工事にかかることができる。だからこそ、檀家さんたち大勢のチェックも入るし、期待もかかる。「寺の現場っていうとね、暗いというイメージをもつ人もいますが、ぼくの入る現場は『工事期間中はおまつりにしたい』というも思っています」



裏山から寺まで、人力で曳いて来た

まず、檀家さんで建設業や関連業者がいれば、なるべくいっしょに協力して仕事できるようにしている。「重機を借りてくるなど、ひとつでも協力してもらえる場面をつくります。ゼネコンじゃあ、そうはいきませんよね」



70年前の檀家さんたちが曳いて来た梁は再利用した。

今ある本堂には、15メートルという長い松の木の梁がある。自然のままの曲がりのある丸太の梁だ。これは前回の造営の時に檀家さんたちが自分たちの山から伐りだし、大勢で曳いてきたものだ。「お寺にその時の写真が宮村さんの現場に応援に来ていた木の家ネットの松山さん。明るい釘山さんは、現場のムードメーカーだ。写真を囲んで「あ、あのじーちゃんがこども時分の格好で写ってる！」と檀家の役員さん同士の話も弾む。「この梁は、切れない。なんとしてでも使おう、そう思いましたね」



1トン半の梁を3人でおさめた

今回の現場は、家が混みあって立つ住宅地の中にあり、工事の車ですら、門を入ったところのわずかなスペースにぎっしりと縦列駐車している。「クレーンを入れられないから、材はすべて手あげです」しかも、社寺に使う材木は長く、太い。それをどう段取りして、少人数であげるか。綿密にその工夫をし、作業に関わる全員の気を合わせなければできない仕事だ。それを「面倒なこと」ではなく「やりがいのあること」として楽しむのが、宮村さんだ。檀家さんたちが山から伐り出してきた松の梁の重量は1トン半。一度木組みをばらして桁におろし、ホゾ穴を加工し直し、たった3人で手の道具だけでもちあげた。



瓦のラインがきれいに見えるように直す。

檀家さんや住職が見守る中で作業することもある。「向拝に櫂の虹梁を取り付けた時のことです。どうやるのかな、と固唾をのんで見守ってくれている。失敗はゆるされない。その視線を受けながら『一発で行こう！』と声かけし、きっちりおさめ、オーツと歓声があがった時はうれしかったですね」この緊張感と達成感が、宮村さんの活力と明るさをつくっているに違いない。



瓦ひとつひとつに寺の名前が入っている。

「現場は明るく、楽しく、にぎやかにやっています。住職さんも改修工事を楽しんでくれます。まだいつになるかわからない次の工事のために、これと思う木を安い時に買って乾燥しておいたりしてます」法事や墓参りの時にしか人の集まることのない、ふだん静かな寺に、改修をめぐってさまざまな人のエネルギーが集まる。やはり「改修工事はおまつり」なのだ。



平瓦と丸瓦がひとつになっている一体瓦。瓦懸志の願いが寺の門の前に貼り出されている。

Like 0 ポスト



美しい曲線を取り戻した屋根。



関連する記事はこちら



NPO関善賑わい屋敷・曳家工事：この家が動く！



工務店・山本兵一さん(大兵工務店)：蔵の街の再生をめざして



大工・金田克彦さん(大「だいかね」建築)：幸せをつくる大工



四天王幼稚園ワークショップ：ぼくがこれ、つくったんだ！



大工・川村克己さん(川村工務店)：石場立ての家



北海道・東北	関東(東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東(東京)	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	



1 2 3

Like 0 [X](#) ポスト

現場は宝の山。けれどそれは、自分で掘り出すもの。

薬師寺の平成の大修理に飛び込む

宮村さんは山口出身。親も大工だ。「3年いたら宮大工の修業に出してやる」という約束で高卒後仏壇会社の木工部に入社、仏壇の取り付けなどをしてきたが、早く大工がしたくて飛び出して、名古屋の「浅草屋工務店」で修業に入った。



製作中の薬師寺の仏具

修業の5年の年季があげ、お礼奉公も済んでフリーになった頃、薬師寺の平成の大講堂の造営工事に来ないかと声をかけられた。迷わずに奈良に飛んだ。西岡常一の片腕だった上原棟梁統括のもとに10人以上も大工がいる大きな現場だ。「道具の使い方でも継ぎ手の仕方でも、10人それぞれにやり方がある。といっても、教えてくれるわけではないから、自分からどんどん訊いたり、見て盗んだり。毎日が刺激的でした」



薬師寺大講堂のご本尊の真上の天蓋。この視線で見るとはなかなかできない！

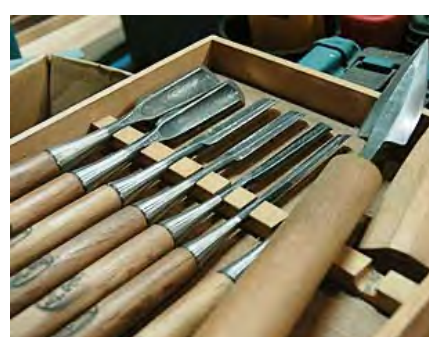
一歩引いて見えてきた、たくさんのこと

大工として仕事にのめりこんだ。薬師寺の大講堂の造営工事は、現場組と工場で刻みをする加工組とに分かれていた。現場で先頭に立ってやりたいのが宮村さんだ。ところが、ある日「宮村は加工組に行け」と上原棟梁に言われた。ショックだった。決定をくつがえそうと、直談判に行くと「君はいままで先頭ばかり歩いて来た。ここで一歩下がって、見ることをおぼえたらどうだ。それが宝になるから、わしの言うことをだまっておけ」と諭された。



愛用の野書きゲージ。社寺の現場ではよく使われる。木の家ネットから応援に来た大工たちの間にも普及しはじめている。道具の使い方ひとつから、交流が生まれる。

悔しかったが、従うしかなかった。加工場からいったん出てしまったものは、戻ってはこないのだから、間違いはゆるされない。自分が加工場で刻んだものが、現場でどうおさまったのか、自分のした刻みがよかったのか、悪かったのか、それを知りたくて、毎朝、始業前の時間に、現場に確かめに行った。現場の棟梁に評価を求めた。「そこで分かったことが、自分で現場で手を下すだけの時よりも、はるかにたくさんありましたね」



美しく研がれたさまざまな寸法の鑿

「気持ちの向き次第で、現場は宝の山にもなる、上原棟梁はそう教えてくれようとしたんだと思います」しかし、宝は転がっているのではない、自分で掘らないと、出てこないのだ。しかも、宝は人がもっている。「人にお伺いする、学ぶという心でないと、心が歪んでいたら、教えてもらえることもない」だから、挨拶や生活態度、心構えが大事、と宮村さんは強調する。



楯がんなを美演してみせしてくれた。くるくると薄いけずり屑が出る。

自分も先輩から習った。これからは、その恩返し

「薬師寺で学んだ奈良の大工のやり方ももちろん、西岡棟梁といえども長くおられていながらこれまで紹介されることの少なかった上原棟梁の想いも伝えていくのも、僕の役割だと思っています」社寺が専門の宮村さんが木の家ネットの仲間に加わった時、自分が大事に集めた仕口・継手の図集を「みなさんの参考になれば」と携えてきた。現場で人手がいる時には、木の家ネットの仲間たちに応援を頼む。宮村さんは自分が教わってきたことを、現場での交流を通して、人に伝える側にまわっている。すぐれた職人技術はこのようなして、伝わっていくのだ。

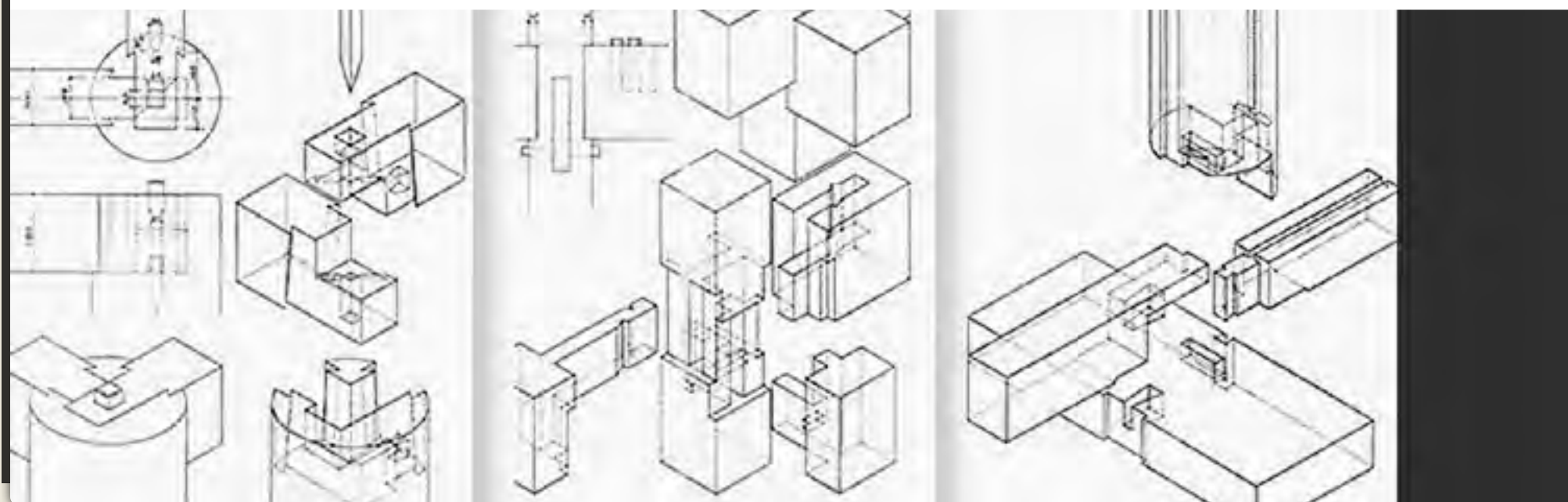


宮村さんが木の家ネットに入会する時に持って来てくれた継手・仕口集。

Like 0 [X](#) ポスト

1 2 3

貴重な資料は、木の家ネット内で共有できるデータベースとして活用することになった。



関連する記事はこちら



NPO関善賑わい屋敷・曳家工事：この家が動く！



工務店・山本兵一さん(大工工務店)：蔵の街の再生をめざして



大工・金田克彦さん(大工(だいかね)建築)：幸せをつくる大工



四天王幼稚園ワークショップ：ぼくがこれ、つくったんだ！



大工・川村克己さん(川村工務店)：石場立ての家

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

2016年12月23日
掛川総会



2016年8月2日
込み栓角ノミ復活！松井鉄工所訪問記



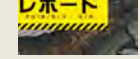
2016年6月21日
熊本震災レポート2



2016年6月9日
大工たちによる「家戻し」の記録



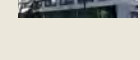
2016年5月21日
熊本震災調査レポート



2016年4月28日
古川 保の熊本市川尻町 震災日誌



2016年3月31日
2/16 衆議院第二議員会館 調査報告会レポート



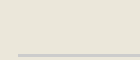
2016年1月27日
地域型住宅の省エネルギーを探る～2016.1.17 京都フォーラム報告



2016年1月14日
第15期 木の家ネット総会 高知大会～会員発表篇～



2015年11月13日
工務店・小田貴さん(オダ工務店)：木の家づくりのプロデューサー



人気のある記事

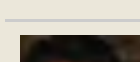
伊勢神宮遷宮・御始祭りに：300年の大木を伐る！
18件のビュー



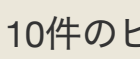
家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ
15件のビュー



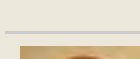
設計士・川端眞さん(川端建築計画)：小さな石場建ての家
11件のビュー



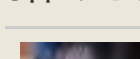
工務店・西條正幸さん(ピオプラス西條デザイン)：北海道で無垢の木の家づくり
10件のビュー



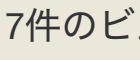
大工・高橋俊和さん(都幾川木建)：初原の営みに魅せられて
8件のビュー



工務店・小田貴さん(オダ工務店)：木の家づくりのプロデューサー
8件のビュー



大場江美さん(サスティナライフ森の家)、日影良孝さん(日影良孝建築アトリエ)：手のひらに太陽の家
7件のビュー



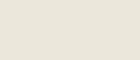
大工・綾部孝司さん(綾部工務店)：原点復帰
7件のビュー



ぎらくなたてものやチーム：家づくりを自分の手に！
7件のビュー



大工・村上幸成さん(村上建築工房)：チームで大きな木の仕事がしたい！
7件のビュー



この記事のタグ

このまちなみを次世代に

現場レポート

同じタグがついた別の記事

2008年7月26日
このままでは伝統構法の家がつかれない！

2010年11月26日
工務店・山本兵一さん(大工工務店)：蔵の街の再生をめざして

2004年6月25日
火の用心 (後編)

2003年12月25日
土壁告示

2009年12月25日
速報！アンケートの全回答まとめ

北海道・東北	関東(東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東(東京)	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	